

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬、処理・処分実績報告書  
記入手引き

〔 本報告の対象となる方 〕

和歌山県、和歌山市の許可をお持ちの  
産業廃棄物の処分業者（中間処理業、最終処分業）及び  
**県が指定した産業廃棄物の収集運搬業者**  
**（平成28年度に県内から県外への運搬実績のあった方）**

## I 同封された書類について

以下の4点の書類が同封されています。確認してください。

- (1) 依頼文
- (2) 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬、処理・処分実績報告書
- (3) 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬、処理・処分実績報告書  
記入手引き〔本書類〕
- (4) 返信用封筒

## II 作成・提出方法

(1) 報告書の作成(電子ファイルによる作成・提出が可能です。ご利用ください。)

同封された「産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬、処理・処分実績報告書」は、和歌山県及び(一財)日本環境衛生センターのホームページからダウンロードでき、電子メールによる提出もできます。なお、同封された報告書、調査票を用いて記入後、同封の返信封筒にて郵送又はファクシミリにて送信していただいても構いません。

### ■報告書の電子ファイルの入手方法

〔和歌山県のホームページからのダウンロード〕

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031800/jissekihoukoku/jisseki-houkoku.html>

〔(一財)日本環境衛生センターホームページからのダウンロード〕

<http://www.jesc.or.jp/work/tabid/222/Default.aspx>

### ■報告書の電子メールによる提出方法

電子メール：hik-r@jesc.or.jp

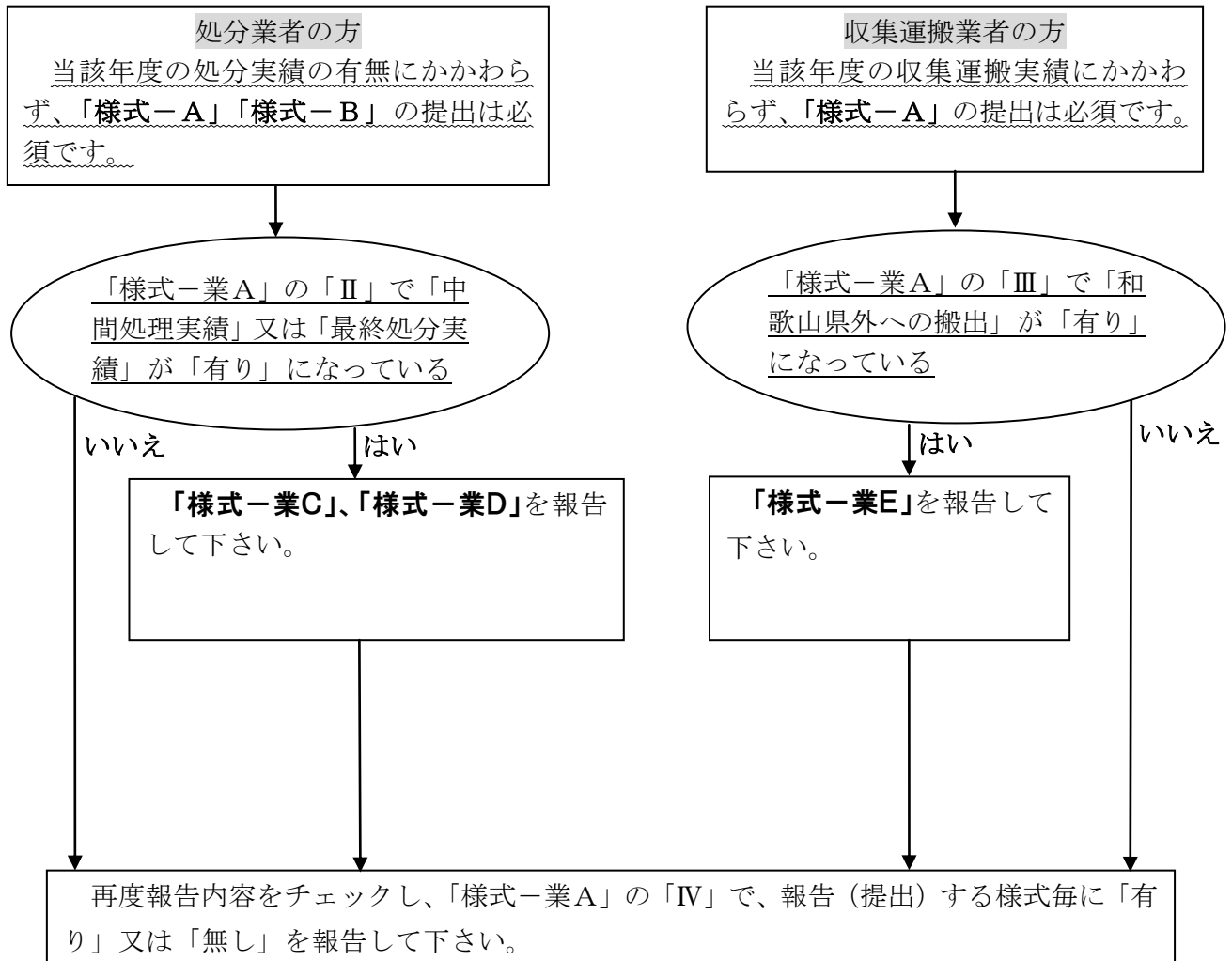
※件名には、「和歌山県報告書」と明記してください。

なお、郵送される方でも、報告書の枚数が多い場合は、できる限りCD等、電子データでの提出をお願いします。

■FAX番号：044-287-3255

### Ⅲ 報告書の記入の流れ

廃棄物の処分業（中間処理業、最終処分業）及び  
産業廃棄物の収集運搬業の許可をお持ちの方へ



## IV 記入要領（実績報告書）

### 1. 提出の対象者

和歌山県において、平成29年度に産業廃棄物の処分業の許可をお持ちの全ての方と県が指定した収集運搬業者の方（平成28年度に県内から県外への運搬実績のあった方）が対象です。

処理実績がない場合も、対象となります。

### 2. 報告書の概略

提出していただく報告書の概略は、以下のとおりです。（許可及び実績状況により異なります。）

様式	提出条件	内容
業A	すべての方	許可内容、実績有無など
業B	施設有り	保管状況、中間処理施設・最終処分場の設置状況（処分業）
業C	実績有り	中間処理施設、最終処分場における処分実績（処分業）
業D	実績有り	中間処理施設、最終処分場における処分実績（処分業）
業E	実績有り	和歌山県内から和歌山県外への運搬実績のある方（収集運搬業）

### 3. 報告書の記入要項

#### ● 様式－業A

平成30年3月31日現在における貴社の状況について記入して下さい。

#### 「I 事業概要の表」

- 1 報告書提出を行う業者名、事業所の内容について、項目に従って記入して下さい。
- 2 氏名又は名称、住所、代表者氏名及び電話番号は、現在のものを記入して下さい。
- 3 資本金は、千円単位で記入してください。
- 4 従業員数は、産業廃棄物処理業に係る事業場における従業員（臨時職員等を含む。）数を記入して下さい。

#### 「II 事業概要の表（処分業者用）」

- 1 和歌山県（**和歌山市を含む**）内に中間処理施設、最終処分場を設置されている場合は、該当項目を記入して下さい。
- 2 許可の取得状況は、平成30年3月31日現在で取得している許可の年月日及び許可番号を記入して下さい。
- 3 一般廃棄物処理業の許可の有無については、「1：有り」又は「0：無し」を選択し、許可を有している場合は、許可を得ている市町村名及び許可の区分（収集運搬、中間処理、最終処分の別）を記入して下さい。
- 4 処理（管理）責任者については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第8項

に基づく産業廃棄物処理責任者を設置している場合はその氏名を、同法第12条の2第8項に基づく特別管理産業廃棄物管理責任者を設置している場合はその氏名を記入して下さい。

5 処分実績及び保管実績は、必ず「1：有り」又は「0：無し」を選択して下さい。

### 「Ⅲ 事業概要の表（収集運搬業用）」

1 和歌山県（和歌山市を含む）で収集運搬業の許可をお持ちの場合は、該当項目を記入して下さい。

2 許可番号は、平成30年3月31日現在で取得している許可番号を記入して下さい。

3 収集運搬実績及び和歌山県外への搬出実績は、必ず「1：有り」又は「0：無し」を選択して下さい。

### 「記入者部課・氏名」

1 この報告書の記入者の所属及び氏名を必ず記入して下さい。

### 「Ⅳ 報告書チェック欄」

1 様式－業B～業Eによる報告について、下記により「1：有り」又は「0：無し」を選択して下さい。

なお、該当様式に報告する実績がない場合は、必ず「0：無し」を選択して下さい。ただし、電子ファイルで提出される方は、提出不用となる様式のシートを削除する必要はありません。

業B－和歌山県（和歌山市を含む）内に中間処理施設又は最終処分場を設置されている処分業者の方

業C－設置する中間処理施設及び最終処分場において、平成29年度中の処分実績がある処分業者の方

業D－同上

業E－平成29年度に、和歌山県内から和歌山県外への運搬実績のある収集運搬業者の方

### ○ 様式－業B

平成29年度における産業廃棄物又は特別産業廃棄物に係る保管状況、中間処理施設の状況、最終処分場の状況を記入して下さい。

なお、電子ファイルで提出される方で、記入欄が不足する場合は、様式－業Bシートを追加して下さい。郵送で提出される方で、記入欄が不足する場合は、業Bシートをコピーしてお使い下さい。

### 「(1) 処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の状況」

1 当該年度内に、処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物がある場合、該当項目を記入して下さい。

- 2 産業廃棄物の種類は、別紙の「産業廃棄物の分類表」の「分類名」と「コード」で記入して下さい。
- 3 所在地は、実際の保管場所の市町村名を記入して下さい。(市町村名まで)

「(2) 中間処理施設の状況」

- 1 当該年度に、和歌山県（和歌山市を含む）内に中間処理施設を設置されている場合は、該当項目を記入して下さい。
- 2 施設区分は、別添の施設区分表から施設区分コードを記入して下さい。
- 3 処理能力は、能力（規模）と単位と欄を分けて記入して下さい。なお、基数又は時間は、備考欄に記入して下さい。
- 4 許可等の有無は、「1：有り」又は「0：無し」を選択して下さい。
- 5 技術管理者については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第21条第1項に基づく技術管理者を設置している場合、その氏名を記入して下さい。
- 6 当該年度内で、休止等により稼働実績がない場合は、備考欄に、「休止」等を記入して下さい。

「(3) 最終処分場の状況」

- 1 当該年度に、和歌山県（和歌山市を含む）内に最終処分場を設置されている場合は、当該項目を記入して下さい。
- 2 処分場の種類は、「1：管理型」、「2：安定型」又は「3：遮断型」を選択して下さい。
- 3 許可の有無は、「1：有り」又は「0：無し」を選択して下さい。
- 4 平成29年度の埋め立て量は、覆土量を除いたものです。なお、覆土量は、当該年度の覆土量欄に記入して下さい。
- 5 自社発生物の埋立量とは、自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物の埋立量です。
- 6 委託による埋立量とは、業として受託した廃棄物であって、業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さ物を除く埋立量です。
- 7 委託廃棄物の自社中間処理後の埋立量とは、業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さの埋立量です。
- 8 当該年度の残余容量とは、平成30年3月31日時点の残余容量です。
- 9 算定残余容量とは、実測された残余容量です。「算定した年月日」欄に算定した年月日を記入して下さい。
- 10 技術管理者については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第21条第1項に基づく技術管理者の氏名を記入して下さい。
- 11 当該年度内で、埋立実績がない場合は、備考欄に、「実績無し」と記入して下さい。

○ 様式－業C

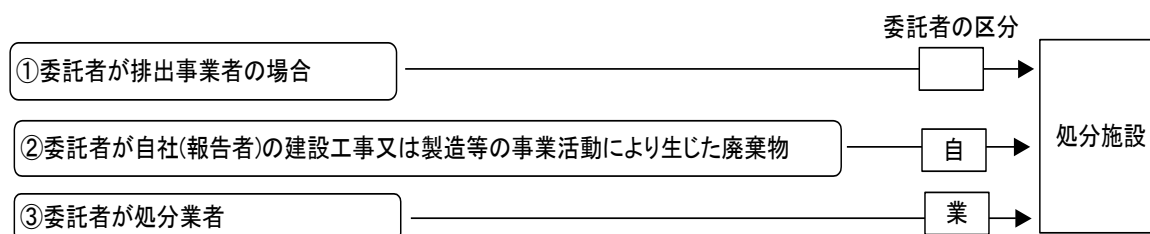
様式－業Bで報告した中間処理施設及び最終処分場の処分実績について、記入して下さい。なお、処分実績がなかった場合は、記入不要です。

- 1 C 1～C 5 欄を用いて、様式Bで報告した施設ごとに当該項目を記入して下さい。
- 2 施設番号は、様式Bで記載されたB 2 1～B 2 7、B 9 1～B 9 3の番号を記入して下さい。
- 3 自社の区分には、業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さ物、自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物の処分実績がある場合のみ、該当欄に「自」と記入して下さい。
- 4 産業廃棄物の種類は、別紙の「産業廃棄物の分類表」の「分類名」と「コード」で記入して下さい。
- 5 「自社で再中間処理・再生・埋立」欄に記入した廃棄物のうち、自社の中間処理施設又は最終処分場で再処理を行った場合は、該当する産業廃棄物処理施設欄に再掲して下さい。
- 6 委託先所在地は、和歌山県内の場合は市町村名、和歌山県外の場合は都道府県名、市町村名を記入して下さい。
- 7 電子ファイルで提出される方で、廃棄物量の単位を立方メートルm<sup>3</sup> で報告される場合は、「m<sup>3</sup>」と半角英数字で記入して下さい。

#### ○ 様式－業D

様式－業Cで報告した中間処理施設及び最終処分場の処分実績について、委託者（排出事業者又は処分業者）ごとに、処分実績を記入して下さい。

- 1 産業廃棄物の種類は、別紙の「産業廃棄物の分類表」の「分類名」と「コード」で記入して下さい。
- 2 委託者の区分は、自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物の処分実績は「自」と記入して下さい。  
また、委託者が処分業者の場合は、「業」と記入して下さい。
- 3 委託者が排出事業者の場合は、「委託者の区分」は記入しないで下さい。  
委託者の区分欄は、処分した廃棄物が「自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物」又は「委託者が処分業者」の場合のみ記入して下さい。



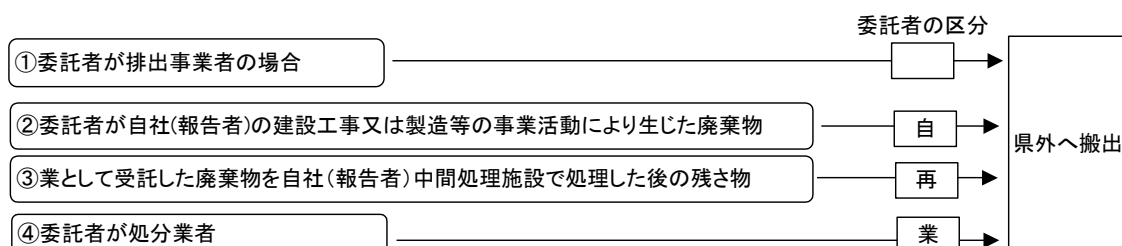
- 4 委託者の住所は、本社の所在地ではなく委託者の事業所等の所在地又は建設工事等にあつてはその現場の所在地を記入して下さい。(和歌山県内の場合は市町村名、和歌山県外の場合は都道府県名、市町村名を記入して下さい)
- 5 移動式の処理施設で処分された場合の「処分場所」は、処分した市町村名の後に移動式であることの旨を記入して下さい。(例：〇〇市(移動式))

- 6 電子ファイルで提出される方で、廃棄物量の単位を立方メートル（m<sup>3</sup>）で報告される場合は、「m<sup>3</sup>」、リットルで報告される場合は、「L」とそれぞれ半角英数字で記入して下さい。
- 7 電子ファイルで提出される方で、記入欄が不足する場合は、15行目以降に行を追加して下さい。郵送で提出される方で、記入欄が不足する場合は、様式をコピーして記入して下さい。

○ 様式-業E

収集運搬業であって、和歌山県内（和歌山市を含む）から和歌山県外への運搬実績のみ、委託者（排出事業者又は処分業者）ごとに運搬先及び運搬先の処理実績を記入して下さい。

- 1 産業廃棄物の種類は、別紙の「産業廃棄物の分類表」の「分類名」と「コード」で記入して下さい。
- 2 委託者の区分は、業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さ物の運搬実績は「再」、自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物の運搬実績は「自」と記入して下さい。  
また、委託者が処分業者の場合は「業」と記入して下さい。
- 3 委託者が排出事業者の場合は、「委託者の区分」は記入しないで下さい。委託者の区分欄は、運搬した廃棄物が「業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さ物」、「自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物」又は「委託者が



処分業者」の場合のみ記入して下さい。

- 4 委託者の住所は、市町村名を記入して下さい。
- 5 運搬先の住所は、都道府県名、市町村名を記入して下さい。
- 6 電子ファイルで提出される方で、廃棄物量の単位を立方メートル（m<sup>3</sup>）で報告される場合は、「m<sup>3</sup>」、リットルで報告される場合は、「L」をそれぞれ半角英数字で記入して下さい。
- 7 電子ファイルで提出される方で、記入欄が不足する場合は、15行目以降に行を追加し記入して下さい。郵送で提出される方で、記入欄が不足する場合は、様式をコピーして記入して下さい。

## V 記入例

様式-業A

### 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬、処理・処分実績報告書

平成 30年 ○月 ○日



報告者の住所 和歌山県〇〇市××1-2  
 報告者のふりがな まるまるしげんかぶしがいいしゃ  
 報告者の氏名 〇〇資源(株)  
 電話番号 073-441-〇〇〇〇

平成29年度の産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の処理・処分実績(運搬実績)について、次のとおり報告します。

I 事業概要の表				
業者名	氏名又は名称	〇〇資源(株)		
	住所	〇〇県××市1-2		
	代表者氏名	和歌 太郎		
	電話番号	000-000-0000	資本金	12345 千円
事業所	名称	〇〇資源(株)		
	所在地	〇〇県××市1-2		
	電話番号	000-000-0000	従業者数	1234 人
	事業内容	産業廃棄物の中間処理及びプラスチック製品製造		

II 事業概要の表(処分業者用)				
許可取得の状況	許可の区分	許可年月日	許可番号	
	産業廃棄物処分業	平成27年 1月 1日	03023456789	
	特別管理産業廃棄物処分業	平成27年 1月 2日	03071456789	
	和歌山県における一般廃棄物処理業の許可の有無	1:有り	有りの場合 市町村名( × × 市 ) 許可の区分( 中間処理 )	
処理(管理)責任者	産業廃棄物	和歌 太郎	特別管理産業廃棄物 和歌 次郎	
平成29年度の処分実績	中間処理実績の有無	1:有り	最終処分実績の有無 1:有り	
平成29年度の保管状況(処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物)	保管実績の有無	1:有り		

III 事業概要の表(収集運搬業用)					
収集運搬業の許可取得の有無		許可番号		平成29年度の収集運搬実績の有無	
		産業廃棄物	特別管理産業廃棄物		うち和歌山県外への搬出
和歌山県	1:有り	03003456789	03050456789	1:有り	1:有り
和歌山市	1:有り	07203456789	07250456789	1:有り	1:有り

記入者部課・氏名	所属 〇〇管理部	氏名 和歌 次郎
----------	----------	----------

IV:報告書チェック欄	業B	業C	業D	業E
報告する様式の有無	1:有り	1:有り	1:有り	1:有り



保管・中間処理・最終状況の概要表 - 中間処理・最終処分業 -

平成29年度実績

業者名 ○○資源(株)

記入例

(1)処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の状況

番号	産業廃棄物の種類※	所在地	保管量	番号	産業廃棄物の種類※	所在地	保管量	
01	汚泥0210	××市	150 t	05			t	
02			t	06			t	
03			t	07			t	
04			t	08			t	
※「産業廃棄物の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。							00 合 計	150 t

(2)中間処理施設の状況

施設番号	処理施設の名称	処理施設の所在地	施設区分	処理能力	許可等の有無	技術管理者名	備考
B21	廃プラスチックの破砕施設	××市△△1-2	08	50 t/日	1:有り	和歌 太郎	
B22	廃プラスチックの焼却施設	××市△△1-2	09	200 t/日	1:有り	和歌 太郎	
B23	汚泥の脱水施設	××市△△1-2	01	200 t/日	1:有り	和歌 太郎	
B24	がれき類の破砕施設(移動式)	××市△△1-2	11	300 t/日	1:有り	和歌 太郎	
B25	汚泥の脱水施設	××市△△1-2	01	150 t/日	1:有り	和歌 太郎	×2基
B26	廃プラスチックの焼却施設	××市△△1-2	09	70 t/日	1:有り	和歌 太郎	(8時間)
B27				/日	1:有り 0:無し		

(3)最終処分場の状況

施設番号	B91	B92	B93
処分場の名称	○○第1処分場		
処分場の所在地	××郡□□町1-1		
処分場の種類	1:管理型	1:管理型 2:安定型 3:遮断型	1:管理型 2:安定型 3:遮断型
許可等の有無	1:有り	1:有り 0:無し	1:有り 0:無し
設置許可等年月日	平成10年 1月 1日	年 月 日	年 月 日
処分場面積	20000 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
埋立地面積	12000 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
埋立容量	135000 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
平成29年度の埋立量の計	6610 t	t	t
自社発生物の埋立量	800 t	t	t
委託による直接埋立量	5800 t	t	t
委託廃棄物の自社中間処理後の埋立量	10 t	t	t
平成29年度の覆土量	800 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
平成29年度末の残余容量	35000 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
算定残余容量	37000 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
算定した年月日	平成30年 5月 2日	年 月 日	年 月 日
技術管理者名	和歌 太郎		
備考			

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の処理施設における処分実績 - 中間処理・最終処分業 -

記入例

平成29年度実績

業者名 ○○資源(株)

産業廃棄物処理施設の種類	処理施設番号(様式B)	自社の区分	処理した種類と年間処理量		処理後の廃棄物と量		自社で再中間処理・再生・埋立		委託先名称	委託先所在地		方法・(用途) ※再生利用の場合は、具体的な用途	量	単位	備考
			種類※	処理量	種類※	処理量	処理(処分)方法 ※再生利用の場合は、具体的な用途	量		委託先所在地	委託先所在地				
C1 廃プラスチックの破砕施設	B21	01	廃プラ0600	1,500 t	廃プラ0600	1,500 t	自社で焼却	500 t	○○資源	□□県○○市	燃料としてリサイクル	800	t		
		02							××興産	△△県○○郡×町	埋立	200	t		
		03													
		04													
		05													
C2 廃プラスチックの焼却施設	B22	06	廃プラ0600	500 t	燃え殻0112	300 t			××セメント	□□県○○市	セメント原料	100	t		
		07	廃プラ0600	2,000 t					××興産	△△県○○郡×町	埋立	200	t		
		08							××セメント	□□県○○市	セメント原料	40	t		
C3 汚泥の脱水施設	B23	09													
		10													
		11	汚泥0210	3,000 t	汚泥0210	1,000 t	建設資材として利用	1,000							
		12	汚泥0211	2,000 t											
		13													
C4 がれき類の破砕施設	B24	14													
		15													
		16	がれき類1501	50,000 t	がれき類150	50,000 t	建設資材として販売	50,000							
		17	建設系混合物2022	3,000 t	がれき類150	1,000 t	建設資材として販売	1,000							
		18								○○燃料	□□県○○市	チップ化燃料	1,200	t	
C5 管理型最終処分	B25	19													
		20													
		21	ばいじん1800	10 t											
		22	汚泥0221	5,000 t											
		23	木くず0810	800 t											
24															
25															

※「種類」「処理後の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。

特別管理産業廃棄物の処分実績 - 中間処理・最終処分業 -

記入例

平成29年度実績

業者名 ○○資源(株)

番号	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類※1	委託者の区分		委託者(排出事業者又は処分業者)※2			単位	自社での処分方法			処分により生じた廃棄物の他社等での処分		
		委託者	業	氏名又は名称	住所	所受託量		処分	方法	施設番号(様式B)	処分場所	氏名又は名称	住所
1	廃プラ0600			○○製鋼(株)	和歌山市	800.00 t	破碎		B21	△△市	○○資源	□□県○○市	燃料としてリサイクル
2	廃プラ0600			□□産業(株)	大阪府○○市	200.00 t	破碎		B21	△△市	××興産	△△県○○郡×町	埋立
3	廃プラ0606			△△建設	田辺市	500.00 t	破碎・焼却・管理型埋立		B21・B22・B91	△△市			
4	汚泥0210	業		○○処分興業	有田市	3,000.00 t	脱水(建設資材に利用)		B23	△△市			
5	汚泥0211			□□市第1下水処理場	○○市	200.00 t	脱水(建設資材に利用)		B23	△△市			
6	がれき類1501			委託業者が処分業者	□□市	2,500.00 t	破碎(建設資材に利用)		B24	□□市(移動式)			
7	がれき類1501			××組	○○市	2,500.00 t	破碎(建設資材として販売)		B24	□□市(移動式)			
8	建設系混合廃棄物2022			××建設	□□市	1,000.00 t	破碎・管理型埋立		B24・B91	□□市(移動式)・△△市			
9	建設系混合廃棄物2022			××組	○○市	2,000.00 t	破碎		B24	○○市(移動式)	××興産	△△県○○郡×町	埋立
10	汚泥0221			××組	××郡○○町	5,000.00 t	管理型埋立		B91	△△市			
11	木くず0810	自		(株)○○資源	××市	800.00 m3	管理型埋立		B91	△△市			
12				自社の事業活動により生じた廃棄物									
13													
14													
15													

※1 「産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類」は、別紙分類表のコードNO. 及び分類名で記入してください。

※2 委託者の住所は、本社の所在地ではなく、その廃棄物が生じた事業所等の所在地又は建設工事にあつてはその現場の所在地を記入してください。(和歌山県内の場合は市町村名、和歌山県外の場合は都道府県名、市町村名を記入してください。)

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の県外への運搬実績 - 収集運搬業 -

記入例

平成29年度実績

業者名 ○○資源(株)

番号	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類※1	委託者の区分	備考	委託者(排出事業者又は処分業者)※2				単位	数量	受託所	運搬先及び運搬先の処分				備考
				氏名又は名称	住所	住所	住所				氏名又は名称	住所	住所	住所	
1	廃プラ0600			○○工業(株)	海南市		200.00	t		○○興業	××県××市		焼却・埋立		
2	廃プラ0600			○○自動車(株)	和歌山市		1.00	t		○○興業	××県××市		破碎・燃料		
3	特定有害産廃7426			××電子	紀の川市		50.00	t		□□処理興業	××県××市		焼却		
4	木くず0810	業		○○チップ(株)	海南市		100.00	m3		□□処理興業	××県××市		燃料化		
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

※1 「産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類」は、別紙分類表のコードNO. 及び分類名で記入してください。

※2 委託者の住所は、本社の所在地ではなく、その廃棄物が生じた事業所等の所在地又は建設工事等にあつてはその現場の所在地を記入してください。(和歌山県内の場合は市町村名、和歌山県外の場合は都道府県名、市町村名を記入してください。)

## VI その他(廃棄物の分類表、処理施設区分表、産業廃棄物の換算比重表)

### 産業廃棄物の分類表

※産業廃棄物の種類は、この表の分類名とコードNo. で記入してください。

#### ●産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)

分類名	区分	コード		
燃え殻	下記以外	0100		
	焼却灰	下記以外	0110	
		石炭灰	0111	
		廃棄物焼却灰	0112	
		廃カーボン・活性炭	0120	
汚泥	下記以外	0200		
	有機性汚泥	下記以外	0210	
		下水汚泥	0211	
	無機性汚泥	下記以外	0220	
		建設汚泥	0221	
上水汚泥		0222		
廃油	下記以外	0300		
	一般廃油	下記以外	0310	
		鉱物系廃油	0311	
		動植物系廃油	0312	
	廃溶剤	0320		
	固形油	0330		
	油泥	0340		
廃酸	下記以外	0400		
	写真定着廃液	0401		
廃アルカリ	下記以外	0500		
	写真現像液	0501		
廃プラスチック類	下記以外	0600		
	廃タイヤ	0601		
	自動車用プラスチックカバー	0602		
	廃農業用ビニール	0603		
	プラスチック製廃容器包装	0604		
	発泡スチロール	0605		
	発泡ウレタン	0606		
	発泡ポリスチレン	0607		
	塩化ビニル製建設資材	0608		
紙くず	下記以外	0700		
	建設工事の紙くず	下記以外	0710	
		ダンボール	0711	
木くず	下記以外	0800		
	建設工事の木くず	伐採材・伐根材	0810 0811	
繊維くず	下記以外	0900		
	建設工事の繊維くず	0910		
動植物性残渣		1000		
動物系固形不要物		4000		
ゴムくず		1100		
金属くず	下記以外	1200		
	鉄くず	下記以外	1210	
		非鉄金属くず	下記以外	1220
			鉛製の管又は板	1221
	電線のくず	1222		
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	下記以外	1300		
	ガラスくず	下記以外	1310	
		カレット	1311	
		廃ブラウン管(側面部)	1312	
		ガラス製廃容器包装	1313	
		ロックウール	1314	
		石綿(非飛散性)	1315	
		グラスウール	1316	
		岩綿吸音板	1317	
		陶磁器くず	下記以外	1320
			コンクリートくず	1321
	廃石膏ボード		1322	
	ALC(軽量気泡コンクリート)		1323	
	鉱さい	下記以外	1400	
スラグ		1401		
がれき類	下記以外	1500		
	コンクリート破片	1501		
	アスコン破片	1502		
動物の糞尿		1600		
動物の死体		1700		
ばいじん		1800		
13号廃棄物		1900		

#### ●特別管理産業廃棄物

分類名	区分	コード	
引火性廃油	下記以外	7000	
	引火性廃油(有害)	7010	
強酸	下記以外	7100	
	強酸(有害)	7110	
強アルカリ	下記以外	7200	
	強アルカリ(有害)	7210	
感染性廃棄物		7300	
特定有害産業廃棄物	下記以外	7400	
	PCB等	下記以外	7410
		廃PCB等	7411
		PCB汚染物	7412
		PCB処理物	7413
	廃水銀等(処分するために処理したものを含む)	7440	
	廃石綿等(飛散性)	7421	
	指定下水汚泥	7422	
	鉱さい(有害)	7423	
	燃え殻(有害)	7424	
	廃油(有害)	7425	
	汚泥(有害)	7426	
	廃酸(有害)	7427	
	廃アルカリ(有害)	7428	
ばいじん(有害)	7429		
13号廃棄物(有害)	7430		

#### ●不可分一体の産業廃棄物

分類名	区分	コード	
建設系混合廃棄物	下記以外	2000	
	安定型建設系混合廃棄物	2010	
	管理型建設系混合廃棄物	下記以外	2020
		新築系混合廃棄物	2021
		解体系混合廃棄物	2022
安定型混合廃棄物		2100	
管理型混合廃棄物		2200	
シュレッターダスト		2300	
石綿含有産業廃棄物	下記以外	2400	
	建設混合廃棄物	2410	
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	2420	
	廃プラスチック類	2430	
	がれき類	2440	
	紙くず	2450	
	木くず	2460	
繊維くず(天然繊維)	2470		
廃自動車	下記以外	3000	
	廃二輪車	下記以外	3010
		バイク	3011
		自転車	3012
廃電気機械器具	下記以外	3100	
	廃パチンコ機・廃パチスロ機	3101	
	プリント配線板	3102	
	テレビジョン受信機	3103	
	エアコンディショナー	3104	
	冷蔵庫	3105	
	洗濯機	3106	
	電子レンジ	3107	
	パーソナルコンピューター	3108	
	電話機	3109	
	自動販売機	3110	
	蛍光灯	3111	
	冷凍庫	3112	
廃電池類	下記以外	3500	
	鉛蓄電池	3510	
	乾電池	3520	
複合材		3600	

産業廃棄物処理施設区分表

廃棄物処理施設		施設区分コード	
基準処理能力		許可	
中間 処理 施設	汚泥の脱水施設	10m <sup>3</sup> /日	01
	汚泥の乾燥施設(機械)	10m <sup>3</sup> /日	02
	汚泥の乾燥施設(天日)	100m <sup>3</sup> /日	03
	汚泥の焼却施設	5m <sup>3</sup> /日, 200kg/時, 面積2m <sup>2</sup>	04
	廃油の油水分離施設	10m <sup>3</sup> /日	05
	廃油の焼却施設	1m <sup>3</sup> /日, 0.2t/時, 面積2m <sup>2</sup>	06
	廃酸・廃アルカリの中和施設	50m <sup>3</sup> /日	07
	廃プラスチック類の破碎施設	5t/日	08
	廃プラスチック類の焼却施設	0.1t/時, 面積2m <sup>2</sup>	09
	その他の焼却施設	0.2t/時, 面積2m <sup>2</sup>	10
	がれき類の破碎施設	5t/日	11
	木くずの破碎施設	5t/日	12
	その他の処理施設		
	有害物質を含む汚泥のコンクリート固形化施設		21
	水銀を含む汚泥の焙焼施設		22
	シアン化合物の分解施設		23
	廃PCB等の焼却施設		24
	PCB汚染物の分解施設		25
	PCB汚染物の洗浄施設		26

上記の施設区分コードのうち、「許可」とあるのは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条第1項に基づく産業廃棄物処理施設設置許可が必要な施設である。

産業廃棄物の換算比重

産業廃棄物の種類	換算比重(t/m <sup>3</sup> )
燃え殻	1.14(0.8~1.8)
汚泥	1.10(0.8~1.8)
廃油	0.90
廃酸	1.25
廃アルカリ	1.13
廃プラスチック類	0.35(0.1~0.4)
紙くず	0.30(0.2~0.9)
木くず	0.55(0.3~1.0)
繊維くず	0.12
動植物性残さ	1.00(0.8~1.2)
ゴムくず	0.52
金属くず	1.13(0.4~1.7)
ガラスくず及び陶磁器くず	1.00(0.7~1.5)
鉱さい	1.93(0.9~2.1)
がれき類	1.48
ばいじん	1.26